

## 【テーマ3】 適切な維持管理と既存ストックの効果的な活用

### めざす方向

- 市町村の管理施設も含めた効率的・効果的な維持管理を推進し、都市基盤施設の長寿命化をめざします。
- 市町村や企業、大学など、多様な主体と連携・協働して、既存のインフラ空間の効率的・効果的な活用を推進し、にぎわいの創出など都市の魅力向上をめざします。

### 戦略的な維持管理の推進（守る）

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（R2.3月末時点）>
<p><b>■ 効率的・効果的な維持管理の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①長寿命化計画に基づく取組みを着実に推進</li> <li>②維持管理データベースシステムの運用の推進</li> <li>③効率的な施設点検に向けた新技術活用の推進</li> <li>④持続可能な維持管理の推進</li> </ul> <p><b>■ 安定した下水道サービスの持続的提供</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「経営戦略」(*34)に基づくさらなる収支改善の取組み</li> <li>②ストックマネジメント計画に基づく、老朽化施設の計画的・効率的な改築更新の推進</li> </ul>	<p>◇活動指標（アウトプット）</p> <p><b>■ 効率的・効果的な維持管理の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①日常的な維持管理や計画的な点検・診断及びそれに基づく補修を着実に実施</li> <li>②今年度から本格運用を開始した維持管理データベースシステムの活用による効率的な維持管理の推進と参加市町村の拡大</li> <li>③道路法面の点検における UAV(*33)の活用や新技術開発における実証フィールドの提供を実施</li> <li>④市町村への支援拡大と連携推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村が管理する橋梁の点検業務の支援拡大</li> <li>・市町村の設計・工事に関する技術支援の推進</li> <li>・大学と連携した技術相談や研修等の実施</li> </ul> </li> </ul> <p><b>■ 安定した下水道サービスの持続的提供</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「経営戦略」に基づくさらなる収支改善の取組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道資源を活用した自主財源の確保を推進</li> <li>・施設の改築および運転管理業務に対する PPP/PFI(*35)手法の導入方針の取りまとめ、事業スキーム案の策定</li> <li>・受益者負担の原則に基づく新たな経費負担ルール導入について、市町村との合意形成に向けた取組みを推進</li> </ul> </li> <li>②南大阪湾岸流域下水道淡輪中継ポンプ場電気設備更新</li> </ul>	<p><b>■ 効率的・効果的な維持管理の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①維持管理行動計画に基づき着実に実施</li> <li>②システムの運用研修を実施し、効率的な維持管理を実施。新たに1団体が参画</li> <li>③UAVは災害復旧現場等道路法面で活用中。また市街地における操縦者養成研修（試行）を実施し、10名が許可取得 新技術開発における実証フィールドについては、水位センサ等2件について実施</li> <li>④市町村管理橋梁の点検業務支援は、都市整備推進C一括発注により着実に実施中 市町村の設計・工事に関する技術支援の推進は、市町村を主体とした地域維持管理PF交流会を実施し、連携を推進 大学と連携した技術相談(7件)や研修等(5件)を実施</li> </ul> <p><b>■ 安定した下水道サービスの持続的提供</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「経営戦略」に基づくさらなる収支改善の取組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・処理場増設用地、ポンプ場・管渠管理用地を駐車場用地等として民間企業への貸し付けを実施</li> <li>・施設の改築および運転管理業務に対する PPP/PFI手法の導入方針の取りまとめが完了し、事業スキーム案を策定中</li> <li>・関連市町村からの協力を得て、新たな経費負担ルール</li> </ul> </li> </ul>

工事など、機械・電気設備の改築更新を着実に推進

案に基づく見直し実施を決定  
②南大阪湾岸流域下水道淡輪中継ポンプ場外電気設備更新工事など今年度実施予定の工事を実施中

**多様な主体との連携による都市インフラの効率的・効果的な活用（活かす）**

＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）＞

■府営公園の魅力向上について

- ① R2 年度の指定管理者公募に向け、民間活力をより一層導入した、新たな公園管理運営制度(\*36)の検討
- ② 指定管理者等の提案に基づくにぎわい促進

■府営駐車場のあり方

■道路の無電柱化の推進（再掲）

■都市の魅力づくり

- ① 竹内街道・横大路(大道)の活性化
- ② クルーズ客船の府営港湾への誘致推進
- ③ 都市緑化の取組みの推進
  - ・公共空間を活用した都市緑化の推進
  - ・民有地の緑化促進
  - ・グリーンインフラ(\*40)に関する新しい緑化技術の活用検討
- ④ にぎわいづくりに向けた舟運の振興

＜何をどのような状態にするか（目標）＞

◇活動指標（アウトプット）

■府営公園の魅力向上について

- ① PMO(\*37)をはじめとする公園管理運営制度の導入を推進すべく、事業者から提案を求める「事前事業提案募集」(\*38)を行い、その結果を踏まえ、新制度の大枠を設定
- ② 運動施設の目的外利用(野外シアター等)や、フィッシングパーク、手ぶらバーベキュー、ビールフェスタ等、各公園の特徴を活かしたイベントなどにより公園のにぎわいを促進

■府営駐車場のあり方

- ・次期公募（R2 年度）に向け、今後の駐車場の運営のあり方を取りまとめ

■道路の無電柱化の推進（再掲）

- ・大阪府無電柱化推進計画に基づき、大阪港八尾線(八尾市)、国道 170 号（羽曳野市）等の無電柱化事業を着実に推進
- 大阪府無電柱化地方部会「市町村部会」を開催し、市町村の無電柱化を促進

■都市の魅力づくり

- ① H29 年度日本遺産(\*39)認定を受け、国による 3 か年補助の最終年度として、より一層地域魅力の発掘・発信を強化するため、ガイドングイベントの実施や VR 映像の作成等、観光協会や観光ボランティア団体、大学等と連携しながら地域活性化に向けた取組みを推進
- ② 「ばしふいつくびいなす」及び「飛鳥Ⅱ」の受入によるノウハウを踏まえ、泉州市町とともに地域の観光資源を PR するなど、更

＜進捗状況（R2.3月末時点）＞

■府営公園の魅力向上について

- ① 「事前事業提案募集」を実施。31 団体から 49 件の提案があり、外部有識者等の意見を踏まえ、各公園に導入する新制度の大枠を検討
- ② 運動施設の目的外利用として、野球場でのイベント（野外コンサート[5 月]、シアター[5 月]）などを実施。また、プールを活用したランニング×エンタテインメント [9 月]・フィッシングパーク、手ぶらバーベキュー、BMX の国際大会[10 月]などを実施

■府営駐車場のあり方

- ・サウンディング型市場調査を実施[9～11 月]し、運営の方向性を取りまとめ

■道路の無電柱化の推進（再掲）

- ・無電柱化のための電線共同溝工事を大阪港八尾線等 5 路線で実施。また、整備済 1 路線の抜柱を実施
- 大阪府無電柱化地方部会「市町村部会」を実施[7 月]

■都市の魅力づくり

- ① 観光ボランティアや大学等と連携を図り、ガイドングイベントの実施や VR 映像作成等を実施。また、日本遺産サミットやツーリズム EXPO ジャパン等、効果の高いイベントに出展し、より多くの人に PR を実施
- ② 世界文化遺産「百舌鳥・古市古墳群」等の地元観光資源を活かし、海外船社を含めた船会社等への誘致活動を実施。また、クルーズ向けツアーを企画する旅行会

<p>■ 自動運転導入に向けた取組み</p> <p>■ 大阪府自転車活用推進計画の策定</p> <p>■ 土木施設を活かした広報戦略の展開</p>	<p>なるクルーズ客船の誘致を推進</p> <p>③都市緑化の取組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交差点等において府民が身近に親しめる魅力高いみどり空間を創出（4か所）</li> <li>・環境農林水産部と連携し、緑化パンフレット作成や市町村を通じたPRを行い、みどりの風促進区域における緑化を促進</li> <li>・環境農林水産部と連携し、都市基盤施設のフィールドにおいて、グリーンインフラに関する新しい技術の効果検証を実施</li> </ul> <p>④府民文化部と連携し、学識者、水面利用者等と共に、航行ルール見直しを実施するなど、安全対策の取組みを推進</p> <p>■ 自動運転導入に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内自動運転活用検討ワーキンググループにおいて、スマートシティの実現に向けた取組みも見据えつつ、自動運転の導入時の交通計画やまちづくりなどインフラへの影響や新たな課題を抽出し、対応策等を検討</li> </ul> <p>■ 大阪府自転車活用推進計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府の計画案について、庁内関係部局で構成する大阪府自転車活用推進委員会において検討し、今年度中に策定</li> </ul> <p>■ 土木施設を活かした広報戦略の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インフラツーリズムなどにおいて、土木施設の役割のPRや、防災意識の向上などを実施</li> </ul>	<p>社のモニターツアー（ファミトリップ）を、地元市と連携して実施</p> <p>③都市緑化の取組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4企業等から寄付を受け、4か所のみどりの空間を創出</li> <li>・府と市の補助事業を紹介する共同パンフレットを作成[8月]するとともに、市町村と連携してPRを行い、みどりの風促進区域内の3地区で緑化を支援</li> <li>・久宝寺緑地において植栽基盤材の試験施工を完了[4月]。樹木の形状、地下水位、路面温度等を測定し、樹木の健全な育成、雨水貯留浸透、路面温度の低減等の各効果を整理・検証中</li> <li>④学識者、水面利用者等が参画する「水上交通の安全と振興検討委員会」を4回開催し、航行ルール見直しに向け検討中</li> </ul> <p>■ 自動運転導入に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートシティ戦略タスクフォースなどとともに、堺市の実証実験結果[10月]や河内長野市で実施中の実装実験の状況[12月から]などから、一般車両等との混在や障害物への対応などの課題を把握し、一般道への導入には、インフラ側の視点も踏まえた基準等の整備の必要性を確認</li> </ul> <p>■ 大阪府自転車活用推進計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進委員会において計画案を取りまとめ、府民意見等募集[10月]を経て、計画を策定・公表[12月]</li> </ul> <p>■ 土木施設を活かした広報戦略の展開</p> <p>下記の場において、土木施設の役割PRや防災意識向上などを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寝屋川流域協議会春・冬施設見学会[5月、1月]</li> <li>・生きた建築ミュージアム大阪2019[10月]への掲載</li> <li>・旅行会社と連携したインフラツーリズム（3件）[11～2月延べ5回]</li> <li>・大阪観光局と連携し、映画「AI崩壊」などで地下河川等をロケ地として提供するとともにロケ地マップを配布[1月]</li> </ul>
---	--	---